

## 第 125 回日本眼科学会総会

- 日 時** 2021 年 4 月 8 日（木）～11 日（日）
- 会 場** 大阪国際会議場（〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51）Tel.06-4803-5585  
リーガロイヤルホテル大阪（〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68）  
Tel.06-6448-1121
- 総会長** 高橋寛二（関西医大）
- 副総会長** 佐堀彰彦（大阪府眼科医会）
- プログラム委員長** 稲谷 大（福井大）
- テーマ** 知と実践
- プログラム** 特別講演  
「網膜におけるデータサイエンス」坂本泰二（鹿児島大）  
「網膜硝子体疾患の病態解明～臨床の素朴な疑問を出発点として～」池田恒彦（大阪医大）  
招待講演  
「Clinical trials for glaucoma treatments : lessons from the UK Glaucoma Treatment Study」David F. Garway-Heath（Moorfields Eye Hospital, UK）  
「Management of fluid in AMD」Srinivas R. Sadda（Doheny Eye Institute, USA）  
評議員会指名講演  
眼科検査・治療の低侵襲化  
「OCT Angiography の成長と成熟」宇治彰人（京都大）  
「角膜生体組織検査と角膜移植手術の低侵襲化」小林 顕（金沢大）  
「糖尿病網膜症 診断・治療の低侵襲化への挑戦」長岡泰司（日本大）  
シンポジウム  
「眼アレルギーの重症化メカニズムと新規治療法」  
オーガナイザー：山上 聡（日本大）・猪俣武範（順天大）  
「角結膜疾患に対する新たな治療法の開発」  
オーガナイザー：西田幸二（大阪大）・白井智彦（国際医療福祉大）  
「透明・再生水晶体への挑戦」  
オーガナイザー：黒坂大次郎（岩手大）・山本直樹（金沢医大）  
「これからの緑内障治療を科学するー緑内障点眼ファーストか？ー」  
オーガナイザー：新田耕治（福井県済生会病院）・久保田敏明（大分大）  
「緑内障検査の新しい潮流」  
オーガナイザー：中野 匡（東京慈恵医大）・井上俊洋（熊本大）  
「視機能を考えた黄斑疾患治療戦略」  
オーガナイザー：岡本史樹（筑波大）・篠田 啓（埼玉医大）  
「網膜再生医療の標的を考える」  
オーガナイザー：高橋政代（神戸アイセンター病院）・近藤峰生（三重大）  
「眼内炎症性疾患における新しい評価法とバイオマーカー」  
オーガナイザー：蕪城俊克（自治医大・さいたま医療センター）・慶野 博（杏林大）  
「難治性視神経疾患克服をめざした橋渡し研究」  
オーガナイザー：敷島敬悟（東京慈恵医大）・奥 英弘（大阪医大）  
「QOV 向上を目指した斜視手術」  
オーガナイザー：木村亜紀子（兵庫医大）・林 孝雄（帝京大）  
「成長期の近視の管理」  
オーガナイザー：行くの恭司（いくの眼科）・根岸一乃（慶應大）  
「眼腫瘍の診断、予後予測における分子病理学の役割」

オーガナイザー：高比良雅之（金沢大）・加瀬 諭（北海道大）

「種々の薬剤による主作用・副作用のバイオメトリー」

オーガナイザー：谷戸正樹（島根大）・北岡康史（聖マリ大）

「スマートサイトの現状と課題」

オーガナイザー：加藤 聡（東京大）・永井春彦（勤医協札幌病院）

「基礎研究セミナー『ポストゲノム時代の基礎研究新展開』」

オーガナイザー：寺崎浩子（名古屋大）・中澤 徹（東北大）

「Pachychoroid を科学する」

オーガナイザー：小泉英貴（琉球大）・五味 文（兵庫医大）

「加齢黄斑変性の抗 VEGF 治療—病態と薬効から考える治療戦略」

オーガナイザー：辻川明孝（京都大）・永井由巳（関西医大）

#### 教育セミナー

「高次収差と眼疾患」

オーガナイザー：神谷和孝（北里大・医療衛生）・鳥居秀成（慶應大）

「臨床で知っておくべき OCT 所見の見方」

オーガナイザー：中村 誠（神戸大）・野本裕貴（近畿大）

「ヒトヘルペスウイルス眼感染症の診断と治療」

オーガナイザー：井上幸次（鳥取大）・竹内 大（防衛医大）

「白色瞳孔/瞳孔縁白濁の発見と対処」

オーガナイザー：彦谷明子（浜松医大）・仁科幸子（国立成育医療研究センター）

「CL による老視矯正の理論と実践」

オーガナイザー：小玉裕司（小玉眼科医院）・高 静花（大阪大）

「眼部の臨床所見と病理所見の相関」

オーガナイザー：小幡博人（埼玉医大・医療センター）・田邊美香（九州大）

「人生 100 年時代：健康寿命と眼科医療の役割」

オーガナイザー：山田昌和（杏林大）・白根雅子（日本眼科医会）

「近年の眼科手術適応の考え方と治療法」

オーガナイザー：永田万由美（獨協医大）・中元兼二（日本医大）

「若手眼科医のための教育セミナー」

オーガナイザー：柳 靖雄（旭川医大）・吉田茂生（久留米大）

「専門医志向者トレーニングコース」

オーガナイザー：木村和博（山口大）・本田 茂（大阪市大）

**運営事務局** 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部内  
(大阪市中央区久太郎 2-1-25 JTB ビル 7F)

Tel.06-4964-8869 Fax.06-4964-8804 E-mail: 125jos@jtb.co.jp

## 第 249 回 O.C.C

**日時** 2020 年 11 月 21 日（土）14:00~17:00

**会場** 第二吉本ビルディング  
(大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトン・ウエスト・オフィスタワー 8 階)

**テーマ** 「網膜硝子体手術 update2020」

**連絡先** 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel. 06-6879-3456 Fax. 06-6879-3458

**第 19 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー**  
**(日眼生涯教育事業 13772/日本視能訓練士協会生涯教育認定)**

- 日時** 2021 年 2 月 27 日 (土) 午後 2 時 45 分 (3 時) ~ 6 時 15 分 (6 時)
- 会場** 千里ライフサイエンスセンター 5 F 山村雄一記念ライフホール (&サイエンスホール)  
 北大阪急行電鉄 (地下鉄御堂筋線) 千里中央駅 北改札口 1 分
- テーマ** 弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ 弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 4—
- プログラム** 「弱視と間違いやすい疾患とその診断のコツ」 築留英之 (三重大)  
 「近視性後天性内斜視の臨床と最新情報」 稗田 牧 (京府医大)  
 「乳児内斜視の眼球運動異常—その基礎と臨床」 雲井弥生 (淀川キリスト教病院)  
 「小切開斜視手術の限界と注意点」 近江源次郎 (近江眼科クリニック)  
 「高 AC/A 型調節性内斜視の臨床と最新情報」 菅澤 淳 (大阪医大)  
 「ワークショップ: レチノスコピー」 全メンバー (下記)
- 会費** 医師 3,000 円・非医師 1,000 円 (いずれも当日登録)
- 主催** 近畿弱視斜視研究会  
 (不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 東山智明, 三宅三平,  
 森本 壮, 村木早苗, 野村耕治, 近江源次郎, 佐々本研二, 白井久美, 菅澤 淳,  
 杉山能子, 築留英之, 横山 連, 内海 隆) (以上 18 名・ABC 順)  
 参天製薬株式会社
- 事務局** 内海 隆 (医療法人 内海眼科医院 072-626-1223)
- おことわり** コロナによる座席制限が続いている場合, レチノスコピーのワークショップは行わず講演のみとなり, 講演会場であるライフホールの live viewing をサイエンスホールで行います. この場合, 講演は午後 3 時開始・6 時終了となり, 座席設定は大阪府「新型コロナウイルス対策本部会議」のガイドラインに公的に基づきますので座席数が約 192 席に限られ, 先着順で入場していただくことになります. あらかじめご了承下さい. 参加の場合は必ずマスク着用をお願いします.